



アクションムービーカメラ

品番：AMC-200HD

取扱説明書（保証書付）

お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。



商品に関するお問い合わせ

お客様相談窓口（カメラ専用窓口）

 **0120-54-9017**

受付時間：
月～金 10:00～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

メールでのお問い合わせ：
E-mail：support@qriom.com

ホームページ：[キュリオム](#)

キュリオム
Qriom

家庭用

ご使用になる前に

この取扱説明書（保証書付）を最後まで
お読みのうえ正しくお使いください。

目次

安全上のご注意	1
1.はじめに	5
2.安全にお使いいただくために	5
3.セット内容	10
4.カメラ取付例	11
5.本製品の使用環境	12
6.各部の名称	13
7.ご使用方法	14
8.パソコンへの保存と再生	31
9.故障かな?と思ったら	32
10.アフターサービスについて	33
11.ご注意	34
12.仕様	35
保証書	裏表紙


安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。


 実行しなければならない内容です。

危険








- 本体(バッテリー内蔵)を、加圧、加熱、火の中へ入れたりしない
- 本体(バッテリー内蔵)を電子レンジやオープンなどで加熱しない
発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

-  カメラ/本体接続ケーブルを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、
引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)
傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

注意

-  レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない
集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。
-  本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。
-  異常に温度が高くなるところに置かない
特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温になります。
本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
※また、外装ケースや付属品、内部部品が劣化する原因になることがありますのでご注意ください。
-  油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
-  病院や機内では、病院や航空会社の指示に従う
本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

警告



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない
本体の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低音やけど*の原因になります。正しい装着方法でお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



分解禁止

分解、改造をしない
(製品廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く)
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源を切る

- ・煙が出たり、異常なおいや音が出る
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体が破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、販売店にご相談ください。



内部に異物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 本機を水のかかるところで使用するときは、防水ケースの扉を確実に閉めてください。
- 特にお子様のご使用にはご注意ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。



SDカードは、乳幼児の手の届くところには置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。



車内には放置しない

- 夏の炎天下では車内は80℃程度まで上がります。

1. はじめに

この度はアクションムービーカメラをご購入いただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は保証書も兼ねておりますので、保証に必要な項目が記入されている事をご確認のうえ、大切に保管してください。

2. 安全にお使いいただくために

安全かつ効果的にご使用いただくために、ご使用になる前に下記の事項をよくお読みになりご理解の上、正しくお使いください。

- ご使用の前に本製品が正常に動作するかご確認ください。
- 本製品のイメージセンサーが損傷するおそれがありますので、長時間直射日光のあたる場所に放置したり、カメラのレンズを太陽光に向けないようにしてください。
- 故障の原因になりますので、本製品を湿気の多い場所やほこりやちりの多い場所に保管しないようにしてください。
- 本体やレンズにほこりやちり等が付着した場合は、柔らかい不織布のような素材で軽く拭きとってください。特に、目の粗い硬い素材の布等でレンズを拭きますとレンズに傷が付く事がありますのでご注意ください。又、有機溶剤等はご使用しないでください。
- カメラのレンズには直接指でさわらないでください。
- マイクロSD(SDHC)カードに記録した画像や動画は出来るだけ早めに他の記録媒体にコピーしてください。

弊社ではデータの損失の責任を負いかねます。又、マイクロSD(SDHC)カードご使用の際は下記の事項に注意してください。

1. 市販のマイクロSD(SDHC)カードの注意事項をご使用前に良くお読みください。
2. マイクロSD(SDHC)カードは曲げたり、落下させたりしないようにご注意ください。
3. 高温多湿な場所や直射日光の当る場所には保管しないで下さい。
4. 磁気を発する機器等の近くにマイクロSD(SDHC)カードを置かないようにしてください。
5. マイクロSD(SDHC)カードの初期化、読込中そして書込み中の間はカメラ又はパソコンから強制的にマイクロSD(SDHC)カードを取り外さないでください。
6. マイクロSD(SDHC)カードは精密ですので、カードの金属素子等に触れないよう注意してください。
7. すべてのマイクロSD(SDHC)カードに対応していることを、保証するものではありません。

防水ケースご使用上の注意事項

- ケースの蓋を閉める前にゴムパッキンに髪の毛や異物が付着していないかご確認ください。ケース内に水が浸水してしまい製品の故障に繋がりますのでご注意ください。又、水中でご使用の後に防水ケースからカメラを取り出す前にタオル等で防水ケースの水分を拭き取ってください。
- 本製品には静止画モード、動画モード、ドライブレコーダーモードの3種類のモードがありますが、カメラを防水ケースに収納する前にお好みのモードにセッティングしてから防水ケースにカメラをいれてください。
- 海中でご使用の後は防水ケースの金属部やゴムパッキン部を真水で良く洗浄してください。そして、よく乾燥させてから再使用してください。

(重要)防水/防じんについて

防水性能

JIS 防水等級 IPX8級 に相当し、水深 15 m/30 分までの撮影が可能です。*

■ 取り扱いについて

- 本機をぶつけたり、落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証いたしません。本機に衝撃が加わった場合は、お買い上げの販売店か、サポートセンターにご相談のうえ、防水性能が保たれているかの点検(有料)をお勧めします。
- 本機を水深 15m より深いところで使用すると、強い水圧により防水性能が損なわれる場合があります。
- 洗剤、石けん、温泉、入浴剤、日焼けオイル、日焼け止め、薬品などの飛まつがかかったときは、速やかにふき取ってください。
- 本機の防水機能は海水と真水にのみ対応しています。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は保証対象外となります。
- マイクロSD(SDHC)カードは防水仕様ではありません。ぬれた手で取り扱わないでください。また、ぬれたマイクロSD(SDHC)カードを本機に入れないでください。
- 手がぬれた状態や本機に水滴がついたまま防水ケースの扉を開け閉めしないでください。水滴がついて端子がさびるなど、故障の原因になります。
- 砂やほこりの多いところでの防水ケースの扉の開け閉めは、扉内側(ゴムパッキンや端子接続付近など)に砂粒などの異物が付着するおそれがあります。異物が付着した状態で防水ケースの扉を閉めると、内部に水が入り故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。
- 本機を寒冷地での低温下(標高の高いところなど)、または、高温になるところ(特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内、暖房機の近く、船上、砂浜など)に長時間放置しないでください。(防水性が保てなくなります)
- 本体内部は防水仕様ではありません。浸水した場合は故障します。
- 防水ケースの扉の内側に異物が付着した場合は取り除いてください。
- 本機または防水ケースの扉の内側に水滴などの液体が付着した場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。水辺、水中、ぬれた手、本機がぬれた状態での防水ケースの扉の開け閉めは行わないでください。浸水の原因になります。
- 防水性能の確保のため、本機ご使用中に音が小さくなる場合があります。

レンズの内側が曇るとき(露付き)

標高の高いところなどの寒冷地から暖かい場所に移動したときなど、温度差や湿度差がある場合、露付きが発生し、レンズの内側が曇る場合があります。本機の故障や不具合ではありません。使用環境により発生する場合があります。

- レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。

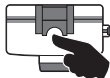
レンズの内側が曇った場合の対処方法

- 電源を切り、側面扉を開け、高温・多湿、砂やほこりの多いところを避け、周囲の温度が一定の場所です約 2 時間そのままにしておく。周囲の温度になじみ、曇りが自然に取れます。
- 曇りが取れない場合は、お買い上げの販売店か、サポートセンターにご相談ください。

水中で使用する前のご確認

砂粒、ほこりの多いところや水辺、およびぬれた手で側面扉の開け閉めは行わないでください。砂やほこりが付着すると、浸水の原因になります。

- 1) クランプの半円部に指を入れます。



- 2) 防水ケースの扉の内側に異物が付着していないか確認する

- ・糸くずや髪の毛、砂粒などの異物が周りに付いていると、数秒で浸水して故障の原因になります。

- 3) ケースを密閉する前に、異物が付着している場合は、取り除く

- ・ゴムパッキンの側面や四隅にも砂粒などが付着することがありますので、特に気をつけて取り除いてください。
- ・液体が付着している場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。液体が付着した状態で使用すると、浸水して故障の原因になります。

- 4) 防水ケースの扉のゴムパッキンにひび割れや変形がないか確認する

- 5) 防水ケースの扉を確実に閉じる

- ・「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。
- ・浸水を防ぐために、液体や砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないようにお気をつけください。

- 6) モードスイッチをお好みの位置に合わせてから、本機を防水ケースに入れてください。

水中でのご使用について

- 水深 15 m 以内、水温 0 °C から 35 °C の範囲内の場所で使用してください。
- 水深 15 m より深いところでは使用しないでください。
- 35 °C を超えるお湯(お風呂や温泉など)の中では、使用しないでください。
- 水中で 30 分以上連続して使用しないでください。
- 水中で側面扉の開け閉めをしないでください。
- 水中で本機に衝撃を与えないでください。(防水性能が保てず、浸水の可能性があります)
- 本機を持ったまま水中に飛び込まないでください。また急流や滝など、激しく水のかかる場所で使用しないでください。(強い水压がかかり、故障の原因になることがあります)

水中で使用したあとのお手入れ

水洗いをして砂粒やほこりを取り除くまでは、防水ケースの扉を開け閉めしないでください。ご使用後は、必ずお手入れをしてください。

- ・手、体や髪の毛などに付いた水滴、砂粒、塩分をよくふき取ってください。
 - ・水しぶきや砂がかかるおそれのある場所は避け、室内でのお手入れをお勧めします。
- 水中でのご使用後は、1時間以上放置しないでください。
- ・異物や塩分が付着したまま放置していると破損、変色、異臭または防水性能の劣化の原因になります。

- 1) 防水ケースの扉を閉じたまま水洗いをする
 - ・海辺や水中で使用した場合は、浅い容器にためた真水の中で10分程度つけ置きしてください。
- 2) 本機を持ち、軽く数回振って水を抜く
 - ・落下防止にお気をつけください。
- 3) 柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす
 - ・約 1 時間以上乾かしてください。
 - ・乾いた布の上に置いて、乾かしてください。
 - ・ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。変形により防水性能が劣化したり、故障の原因になります。
- 4) 水滴が付いていないことを確認してから、防水ケースの扉を開け、内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布でふき取る
 - ・十分に乾燥させないまま、防水ケースの扉を開けると水滴がSDカードなどに付着する場合があります。また、SDカード挿入部付近や端子付近の溝に水分がたまる場合があります。柔らかい乾いた布で必ずふき取ってください。
 - ・ぬれたまま防水ケースの扉を閉じると、水滴が本機内部に侵入し、露付きや故障の原因になります。

万一、本機に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店か、お客様相談窓口にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は保証対象外となります。

必ずお読みください

■ 本機の記録方式と互換性について

- 本機は高精細なハイビジョン映像を記録する **H.264方式** (静止画:JPEG) のカメラです。
- AVCHD 規格や MPEG2 動画 とは規格方式が異なりますので、互換性はありません。

■ 肖像権について

本機のご利用につきましては、被写体のプライバシー肖像権などに十分配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください。

大切な撮影のときには、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 防水ケースに入れてご使用すると音声を取り込みづらくなります。

本体にマイクが付いているため、音声を取り込みたい場合はケースをはずしてご使用ください。

■ 本体にはスピーカーはありません。音声を聞くときは、パソコンなどでご使用ください。

■ 暗い場所での撮影は適していません。

■ テレビなどのUSB端子がある機器でも充電されていない場合があります。くわしくは機器の取扱説明書をご覧ください。

■ バッテリーの交換はできません。

撮影内容の補償はできません

本機およびSD(SDHC)カードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
また、本機を修理した場合においても同様です。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

3. セット内容

本体



防水ケース



ヘッドベルト



車載用シガー
アダプター



吸着式マウント



ハンドルバー
取付マウント



USBケーブル



取扱説明書
(保証書付)(本書)



マイクロSDカードは
別売です。

4. カメラ取付例

■ ハンドルバー取付例

ハンドルバー
取付マウント



+

防水ケース



=



■ ヘルメット取付例

ヘッドベルト



+

防水ケース



=



※防水ケースを装着してご使用になると音声の録音感が悪くなります。

5. 本製品の使用環境

使用環境	
対応OS	Microsoft Windows2000,XP,Vista,7,8, Mac 10.2
CPU	Intel Pentium III of more than 800MHz or other CPU with equivalent performance
内部動作メモリー	1GB System memory
Sound Cardと Display Card	DirectX8以上のバージョンを推奨
CDドライブ	4倍速以上を推奨
ハードディスク	HD 2GB以上の空き容量が必要
USBポート	パソコンに標準搭載するUSB 1.1又はUSB2.0端子

静止画記録枚数 ※撮影枚数は目安です

		約500万画素時 (2592×1944)
SDHC(市販)	8GB	約3,600枚
	16GB	約7,200枚
	32GB	約9,999枚

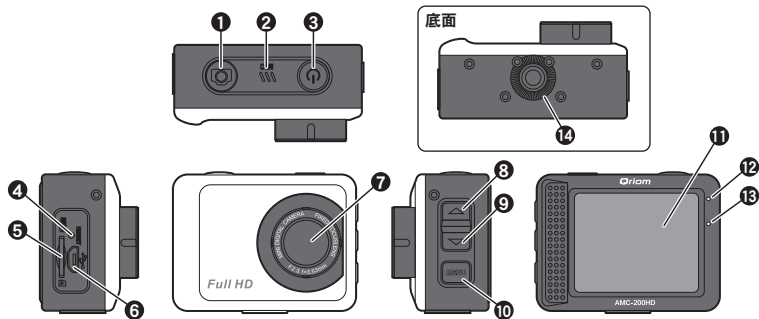
連続動画記録時間 ※記録時間は目安です

		フルHD画質 (1920×1080)
SDHC(市販)	8GB	約55分
	16GB	約115分
	32GB	約235分

※ 静止画記録枚数や、動画録画時間については、使用のSD(SDHC)カードなどにより変化しますので、あくまでも目安としてください。

※ 推奨マイクロSDカード：サンディスク製、東芝製

6. 各部の名称



- | | | |
|------------------|-----------|------------------|
| ① シャッターボタン／OKボタン | ⑥ USB端子 | ⑪ 液晶画面 |
| ② マイク | ⑦ レンズ | ⑫ 充電表示灯 [CHARGE] |
| ③ 電源ボタン | ⑧ UPボタン | ⑬ 作動表示灯 [BUSY] |
| ④ リセット ※ 1 | ⑨ DOWNボタン | ⑭ カメラマウント |
| ⑤ SDカードスロット | ⑩ MENUボタン | |

※ 1 リセットボタンを、先の細い針などで押すと、工場出荷時の状態に戻ります。

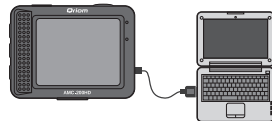
7. ご使用方法

■ 本機の充電(PC使用)

付属のUSBケーブルで本機とUSB端子を要するパソコンを接続してください。本機の充電表示灯が赤く表示され充電が開始します。充電が完了すると充電表示灯の赤表示は消えます。通常満充電まで約3時間ですが、ご使用の機器により時間は前後します。

※ 付属のUSBケーブルは充電しながら撮影できるタイプです。パソコンで給電中はパソコンがリムーバブルディスクとして本機を認識しませんので、マイクロSDカードとパソコンとのデータの相互間のやりとりはマイクロSDカードを直接パソコンのスロットに挿入して実行してください。又は市販のUSBケーブルを使用して実行してください。

• ACアダプターを使って充電する場合、別売品「ACアダプター OWL-ACUSIA」をお使いください。



■ マイクロSDカードを本機に装着

1. マイクロSDカードの挿入向きに注意し(カードの印刷面が下)本機のマイクロSDカードスロットに奥まで挿入してください。
2. マイクロSDカードを本機から取り外す時は指で軽くマイクロSDカードを押して取り外してください

注意・本機を使用する前に正常なマイクロSDカードが本機に挿入されているかご確認ください。

・全てのマイクロSD(SDHC)カードが動作確認できているものではありません。種類やメーカーにより使用できない場合があります。

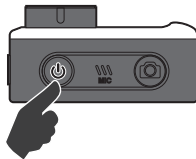


- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・再生時間は再生ファイル、使用方法により異なる場合があります。・データ転送速度は使用環境によって異なる場合があります。・本機付属ケーブル以外のUSB延長ケーブル、USBハブによるPCとの接続は動作保証対象外となります。 | <ul style="list-style-type: none">・マイクロSD(SDHC)カードがフォーマットされていない場合、本機で正常に録画/再生ができないことがあります。あらかじめフォーマットしてからご使用ください。・無理にマイクロSDカードを入れると、本機の破損等の思わぬトラブルの原因になりますのでご注意ください。 |
|---|---|

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消失を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。本機、マイクロSD(SDHC)カード及びパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

■ 撮影開始と終了

1. 撮影開始：電源ボタンを約3秒押してください。オープニング画面が表示され撮影開始の準備ができます。
2. 撮影終了：電源ボタンを約3秒押してください。液晶表示画面が消えて電源オフになります。電源を入れたまま本機をそのままにしておくことで省電力のために任意の設定（約1分後、3分後、5分後）により、自動的に電源が切れます。任意の設定をOFFにすると電源は切れません。動画撮影中の時は画面が消えても撮影は継続されます。液晶画面を再度表示したい場合はシャッターボタンを軽く押してください。
3. 本機の残電力が少なくなると液晶画面上にLow Powerアイコン(🔋)が表示されますので直ぐに充電してください。充電表示赤灯が点滅を始めると自動的に電源はオフになります。



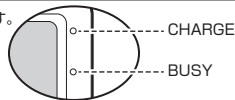
■ 撮影モード切換

作動中本機の電源ボタンを押すことで動画モード、静止画モード、再生モードを選択できます。(電源ボタンを入れると動画モードから始まりまずドライブモードを選択する場合は動画モードの時に本機の左側面の一番下の「MENU」ボタンを押してメニュー項目を表示させて、その項目の中の「Seamless」をUP/DOWNキーボタンで選択してシャッターボタンを押してください。そして、1分、3分又は5分のどれかを選んでシャッターボタンで確定してください。ドライブレコーダーモードの場合は動画のセグメントが上記の任意の選択時間で区切られて撮影されます。メモリーカードの空き容量がなくなると自動的に最初の撮影セグメントから消去され新しい撮影セグメントに上書きされます。

※画面が逆さになります。

■ 表示灯(赤色ライト)

- ・ CHARGE(充電表示灯)：本機を充電中は赤く点灯します。充電完了すると消灯します。
- ・ BUSY(作動表示灯)：撮影等で本機を使用する時に緑色点灯します。



■ 動画撮影モード

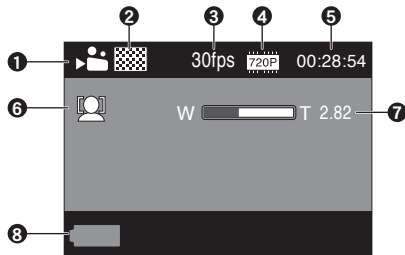
本機の電源を入れて液晶画面を立ち上げた後に電源ボタンを押して動画モード()を選択してください。

※最初に電源を立ち上げると、動画モードから始まります。

動画を撮る時はシャッターボタンを一度押してください。

作動表示灯が緑色に点滅して動画撮影が開始します。画面右上には赤色のRECが点滅して録画時間が赤色で表示されます。

液晶表示の説明



- 1 動画モード
- 2 動画画質
(Super Fine, Fine, Normalの3画質を選択できます。)
- 3 動画フレームレート
- 4 動画サイズ (メニューから種類を選択できます。)
- 5 撮影可能残時間 (メニューから選択できます。)
- 6 人物顔自動焦点 (メニューから選択できます。)
- 7 デジタルズーム
- 8 バッテリー残量

■ 静止画撮影モード

本機の電源を入れて液晶画面を立ち上げた後に電源ボタンを押して静止画モード(P)を選択してください。静止画を撮る時はシャッターボタンを一度押してください。

液晶表示の説明



- 1 静止画モード
- 2 連写モード
(3枚、5枚、10枚連写、OFFが選択できます。)
- 3 セルフタイマー
(2秒、10秒、OFFが選択できます。)
- 4 有効画素数
(300万、500万、800万、1200万の画素数を選択できます。)
- 5 画質
(Super、Fine、Normalを選択できます。)
- 6 撮影可能残枚数
- 7 デジタルズーム
- 8 バッテリー残量
- 9 人物顔自動焦点(メニューから選択できます。)

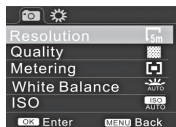
■ MENU (メニュー) 設定モード

MENU画面

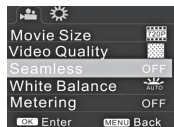
静止画、動画、再生画面のいずれかを立ち上げている時に本機横の

MENU ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

そして、UP/DOWNキー(▲▼)でメニュー項目を選択してください。シャッターボタン(📷)を押して任意の選択項目を表示させてUP/DOWNキー(▲▼)で任意の項目を選び、シャッターボタン(📷)で決定します。各項目を選択後 **MENU** ボタンを押すと撮影モード画面又は再生画面に戻ります。



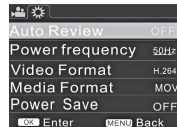
静止画MENUモード画面



動画MENUモード画面

システムモード設定画面

メニュー画面を表示させた後に電源ボタン(🔘)を押すことによりシステムモード設定画面に切り替えられます。UP/DOWNキー(▲▼)で任意の設定項目を選択できます。シャッターボタン(📷)を押して任意の選択項目を表示させてUP/DOWNキー(▲▼)で任意の項目を選び、シャッターボタン(📷)で決定します。各項目を選択後 **MENU** ボタンを押すと撮影モード画面又は再生画面に戻ります。











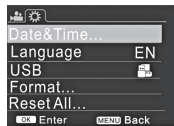
システムモード設定画面

MENU画面からシステムモード設定画面(システムモード設定画面からMENU画面)へ切り替える際の注意

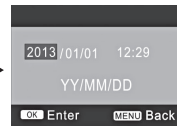
MENU画面からシステムモード設定画面(システムモード設定画面からMENU画面)への切り替えは電源ボタンを押しますが、MENU画面又はシステム設定画面で**一度でもUP/DOWNキーを押すとその後電源ボタンを押しても切り替えることができません。**その場合はMENUボタンを押して動画、静止画又は再生画面に一度戻り、再度MENUボタンを押してお好みの設定画面を選択してください。

日付と時間の設定







本機の電源を入れて動画モード画面を立ち上げた後に **MENU** ボタンを押してシステムモード設定画面を表示させます。そして電源ボタン()を押して設定項目画面を表示させてからUP/DOWNキー()で「Date & Time」(日付と時間)を選びシャッターボタン()を押してください。UP/DOWNキー()で年、月、日、時間を正しい年月日と時刻を設定します。年を設定してから月の設定に移行する時は電源ボタン()を押します。同様に次の項目を設定する時は電源ボタン()を押して次の設定に移行してUP/DOWNキー()で正しい数字を設定してください。設定後、シャッターボタン()で決定し、**MENU** ボタンを押すと撮影モード画面又は再生画面に戻ります。



システムモード設定画面



再生モード設定画面

本機の電源を入れて液晶画面を立ち上げた後に電源ボタン()で再生モード()画面を表示させます。**MENU** ボタンを押して設定項目画面を表示させてからUP/DOWNキー()で任意の項目を選択します。シャッターボタン()を押して任意の選択項目を表示させてUP/DOWNキー()で任意の項目を選び、シャッターボタン()で決定します。各項目を選択後 **MENU** ボタンを押すと撮影モード画面又は再生画面に戻ります。



再生モード画面



再生モード設定画面

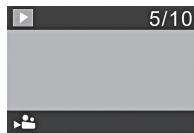
撮影した画像・動画を再生する

本機の電源を入れて液晶画面を立ち上げた後に電源ボタンで再生モード画面(▶)を表示させます。

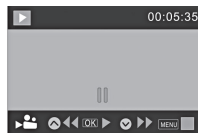
UP/DOWNキー(▲▼)を押して再生したい静止画又は動画の画面を表示させます。画面の左下に動画のアイコン(🎬)が表示されます。静止画は何も表示されません。動画の再生を開始するにはシャッターボタン(📷)を押します。又、再生を一時停止させるにはシャッターボタン(📷)を押します。

動画再生中にDOWNキー(▼)を押すと再生画面の早送り、UPキー(▲)を押すと再生画面の早戻しになります。

動画再生を停止させるには **MENU** ボタンを押してください。静止画の場合は、UP/DOWNキー(▲▼)を押すと次の画面に進みます。



動画再生ファイル画面



動画一時停止画面






■ 簡易ドライブレコーダーモード

※このカメラは車載用でつくられていませんので、車内に本機を置いたままにしないようにしてください。

カメラ取り付け場所 一般的なドライブレコーダーの保安基準です。必ずお守りください。

- ① 運転席から見てルームミラーの陰になり、視界を妨げない場所。
- ② フロントウインドウの上端から、上下方向に20%(1/5)以内の場所。

⚠ 注意 (取り付け場所について)

-  エアバッグ装着車に取り付ける場合は、作動に影響する位置には絶対に取り付けられない…
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。
-  本製品を次のような場所に取り付けられない…
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所/運転操作を妨げたり、はずれたりして、けがや交通事故の原因となります。
-  雨が吹き込むところなど水のかかるところや、湿気・ほこりの多いところへは取り付けられない…
本製品に水や湿気、ほこりが混入すると、発火や発煙の原因となることがあります。
-  振動の多いところなど、しっかりと固定できないところには取り付けられない…
はずれて、けがや事故の原因となることがあります。
-  直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ、また本製品の通風穴や放熱部をふさぐ場所に取り付けられない…
本製品に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- LED式の信号機、テールランプ、ストップランプ、蛍光灯などはLED制御の性質上明かりが点滅または消灯した状態で録画される場合があります。
- 他の無線機やテレビ、テレビチューナー、ラジオ、パソコン、GPSなどの近くで使用すると、影響を与えたり受けたりすることがあります。
- ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。また、録画された画像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画として活用していただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- 映像の未録画、録画されたデータの破損等によるあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に抵触しないように注意してご利用ください。
- 記録システムの仕様により、一部記録されない時間が発生することがあります。
- 夜間の撮影はできません。

■ 簡易ドライブレコーダーモード

⚠ 注意 (使用時について)



運転中に操作をしない…

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



走行中にモニターを見ない…

運転者がモニターを見るときは必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にモニターを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

- マイクロSDカードの抜き差しは、シガープラグをシガーソケットから取り外す。または、車両エンジンキーでシガー電源を切った状態で行ってください。電源が入ったままマイクロSDカードを抜き差しすると、録画されていたファイルが壊れてしまう場合があります。

ドライブレコーダーのインジケータが消えていることを確認してください。一部の外国車両ではエンジンキーでエンジンを切ってもシガー電源が切れない場合があります。

- マイクロSDカードの抜き差しは、濡れた手で行わないでください。
またマイクロSDカードの端子部分は触らないでください。接触不良の原因となり、画像の記録ができなくなる場合があります。
- シガー電源を使用しながら使用できません。
- 車載専用でつくられたものではありませんので、高温や低温になる車内に本機は置いたままにしないでください。

⚠ 注意 (取付け方法について)

- 天面の窓ガラスに吸着式マウントで取り付けてください。
- 取り付けの際は、吸着式マウントに取り付けてください。その際、映像は逆向きになります。

■ 撮影モード切替

本機の電源ボタンを押すごとに動画モード、静止画モード、再生モードを選択できます。(電源ボタンを押すと動画モードから始まります)ドライブモードを選択する場合は動画モードの時に本機の左側面の一番下のMENUボタンを押してメニュー項目を表示させて、その項目の中の「Seamless」をUP/DOWNキーボタンで選択してシャッターボタンを押してください。そして、1分、3分又は5分のどれかを選んでシャッターボタンで確定してください。ドライブレコーダーモードの場合は動画のセグメントが上記の任意の選択時間で区切られて撮影されます。メモリーカードの空き容量がなくなると自動的に最初の撮影セグメントから消去され新しい撮影セグメントに上書きされます。

※再度電源をONにした場合、動画モードから始まります。

■ メニュー画面 日本語対応表

■ 動画モードのメニュー画面


カメラの横にある **MENU** ボタンを押し、UP/DOWNキー( )で横の項目を選択し、シャッターボタン()で決定します。

※ 動画モードを立ち上げる時はP16を参照してください。

表示	内容	表示	内容
Movie Size	動画撮影モード	1080P 1920×1080	1080P 1920×1080 (フルハイビジョン)
		720P 1280×720(30fps)	720P 1280×720(30fps) (HD720)
		720P 1280×720(60fps)	720P 1280×720(60fps) (HD720)
Video Quality	動画画質	Super Fine	最高画質
		Fine	高画質
		Normal	標準画質
Seamless	ドライブモード (動画撮影セグメント) ※マイクロSDの容量を超えると 上書きしていきます。	Off	オフ
		1Min	1分間ごとにファイルを作成
		3Min	3分間ごとにファイルを作成
		5Min	5分間ごとにファイルを作成
White Balance (色合い)	ホワイトバランス (色合い)	Auto	自動
		Daylight	太陽光 (晴天)
		Cloudy	曇り (日陰)
		Fluor H	室内 (蛍光灯)
		Tungsten	室内 (白熱電灯)

■ 動画モードのメニュー画面

表示	内容	表示	内容
Metering	測光 (被写体の明るさを測ります)	Center	中央重点測光 画面の中央の明るさが適正露出になります。
		Multi	マルチパターン測光 明るい部分と暗い部分のバランスをとった露出になります。
		Spot	スポット測光 ピントを合わせた物が適正露出になります。
Effect	背景 (映像効果)	Normal	標準
		B&W	白黒
		Sepia	セピア
		Negative	くっきり
		Red	赤色
		Green	緑色
		Blue	青色
Face Tracking	フェイス-tracking機能 (顔検出機能)	Off	オフ
		On	オン

■ システムモード設定画面 動画、静止画、再生画面のメニュー設定の画面で、電源ボタン()を押します。※ P18を参照してください。

表示	内容	表示	内容
Auto Review	撮影後の写真確認時間	Off	オフ
		1sec	1秒
		3sec	3秒
		5sec	5秒
Power Frequency	周波数設定 (チラツキ対策)	50Hz	50Hz (東日本)
		60Hz	60Hz (西日本)
Video Format	ビデオフォーマット (録画形式)	MJPG	MJPG (モーションJPEG)
		H.264	H.264
Media Format	メディアフォーマット	AVI	AVI
		MOV	MOV
Power Save	省電力 (自動画面オフ機能) ※本体電源が切れるわけではありません。	Off	オフ
		1min	1分
		3min	3分
		5min	5分
Date & Time	日付と時間	YY/MM/DD	年/月/日 (設定方法は P19 参照)
Language	言語	English	英語
		Francais	フランス語
		Espanol	スペイン語
USB	通常選択する必要はありません	MSDC	本体をリムーバブルディスクとして使用時
		UVCH264	ウェブカメラとして使用時
		UVCMJPG	ウェブカメラとして使用時
Format	マイクロ SD カード初期化	Yes	初期化します (※SD カード内に あるファイルは全て削除されます。)
		No	初期化せず終了します
Reset All	設定初期化	Yes	工場出荷時に戻ります
		No	初期化せず終了します

■ 静止画モード(📷)でのメニュー画面

※ P18を参照してください。

表示	内容	表示	内容
Resolution	静止画撮影モード	12M 4000×3000	約1200万画素
		8M 3264×2448	約800万画素
		5M 2592×1944	約500万画素
		3M 2048×1536	約300万画素
Quality	画質	Super Fine	最高画質
		Fine	高画質
		Normal	標準画質
Metering	測光 (被写体の明るさを測ります)	Center	中央重点測光 画面の中央の明るさが適正露出になります。
		Multi	マルチパターン測光 明るい部分と暗い部分のバランスをとった露出になります。
		Spot	スポット測光 ピン点をあわせた物が適正露出になります。
White Balance	ホワイトバランス (撮影補正)	Auto	自動
		Daylight	太陽光 (晴天)
		Cloudy	曇り (日陰)
		Fluor H	室内 (蛍光灯)
		Tungsten	室内 (白熱電灯)

■ 静止画モード(📷)でのメニュー画面

表示	内容	表示	内容
ISO	明るさの感度	Auto	自動
		50	50
		100	100
		200	200
		400	400
Exposure	露光 (明るさの調整)	-0.7 ~ +2.0	-0.7 ~ +2.0 (13段階で選択)
Self-Timer	自動シャッター (タイマー)	Off	オフ
		2S	2秒
		10S	10秒
Burst Mode	連写	Off	オフ
		3	3枚
		5	5枚
		10	10枚
		Sharpness	鮮明度
		Normal	標準
		Soft	ソフト

■ 静止画モード(📷)でのメニュー画面

表示	内容	表示	内容
Effect	背景 (画像効果)	Normal	標準
		B&W	白黒
		Sepia	セピア
		Negative	くっきり
		Red	赤色
		Green	緑色
		Blue	青色
Date Stamp	日付表示	Off	オフ
		Date	日付
		Date & Time	日付と時間
Detection	検出機能	Off	オフ
		Face Tracking	顔検出
		Smile Detect	笑顔認識
Digital Zoom	デジタルズーム	Off	オフ
		On	オン

■ 再生モード選択中のメニュー画面

※ P19を参照してください。

表示	内容	表示	内容
Protect	ファイルの保護	Single	単体撮影画保護
		Protect All	全撮影画保護
		Unprotect All	保護無
Delete	ファイルの削除	Single	単体削除
		All	全撮影画削除
Slide Show	スライドショー	Start	開始
		Interval 1sec - 10sec	1秒～10秒間隔
		Transition 1-5, Mix	1から5回表示とミックス表示 (電源ボタンで選択できます)
		Repeat YES/NO	リピートYES/NO (電源ボタンで選択できます)
Photo Effect	背景 (撮影効果)	B&W	白黒
		Sepia	セピア
		Negative	くっきり
		Mosaic	モザイク
		Vivid Red	赤色
		Vivid Green	緑色
		Vivid Blue	青色
Rotate	反転	Rotate	反転
		Save	画像保存
		Back	戻る
Resize	画素数変更後コピー作成	8M	800万画素
		5M	500万画素
		3M	300万画素
		1M	100万画素

8. パソコンへの保存と再生

本機に挿入されたマイクロSDカードに保存された静止画又は動画はお手持ちのパソコンのハードディスクに簡単に保存ができます。又、再生も簡単にできます。動画はWindows Media Player等の動画再生ソフトウェアをご使用になり再生してください。本機の動画ファイルフォーマットはH.264ですので、撮影した動画ファイルは光ディスク(CD-R、DVD-R、BD-R等)にダビングできますが、お手持ちの機器によっては再生できない場合があります。くわしくは再生機器メーカーにご確認してください。

- H.264ファイルのまま、書き込みをした場合はパソコン上のWindows Media Player等のソフトウェアで再生できます。お手持ちのレコーダーなどで再生できない場合は動画ファイルフォーマットに変換すると見ることができます。詳しくはインターネット等で検索してください。

9. 故障かな?と思ったら

本製品に問題が発生した場合は、下記のことをチェックしてください。

こんなときは	ご確認ください
レンズが曇る	・露付きの現象です。故障ではありません。(P7)
電源が入らない	・バッテリーを十分に充電してください。
電源が入ってもすぐに切れる	・低い温度のところでは使用できる時間が短くなります。
バッテリーの消耗が早い	・一時画面オフ状態のままになっていませんか? シャッターボタンを一度軽く押して画面を表示させてから電源をお切りください。 ・十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリー寿命です。お買い上げの販売店か、サポートセンターまでご相談ください。
カードを入れると電源が切れる	・動作保証外のカードを入れたり、カードのフォルダー数やファイル数が上限を超えている場合などが考えられます。

こんなときは	ご確認ください
撮影が勝手に止まってしまう	・動画撮影に使用可能なマイクロSDカードをお使いください。データ書き込み速度の低下、または記録・消去の繰り返しにより記録可能時間が短くなる場合があります。
写真撮影ができない	・動画撮影中は写真撮影はできません。
USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	・USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイのアイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。

10. アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より一年です。詳細は保証書をご覧ください。
- ③アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買上げ販売店か、お客様相談窓口(カメラ専用窓口)にお問い合わせください。

データ取り扱いに関する注意

- SD(SDHC)カードにデータを記録する場合は、著作権法に違反しないよう十分注意してください。当社、及び本製品の製造元・流通元・販売元は、本製品が上記のような違反行為に使用された場合、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に伴い、SD(SDHC)カードやUSB接続により書き込んだデータの消失、毀損等によりお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見、または予見しえなかった場合を含みます)および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ先:

お客様相談窓口(カメラ専用窓口)

 **0120-54-9017**

受付時間：月～金 10:00～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせ：

E-mail：support@qriom.com

ホームページ：[キュリオム](#) [検索](#)

個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社 山善及びその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合は正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

11. ご注意

- 本製品を運用した結果いかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどがございましたら、販売店もしくはお客様相談窓口(カメラ専用窓口)にご連絡ください。また上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間、経費
- 本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

修理の際はSD(SDHC)カードは取り出しをご返送ください。

また、本書に乱調、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

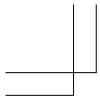
12. 仕様

製品仕様

イメージセンサー	5.0メガピクセル CMOSセンサー	表示言語	英語、スペイン語、フランス語
ファンクションモード	静止画、動画、再生モード	省エネ自動電源OFF	1分、3分、5分、設定無（選択可）
レンズ	F2.5 f=3.53mm	測光	中央、マルチ、スポットの測光
デジタルズーム	8倍デジタルズーム	ファイルフォーマット	静止画 JPEG 動画 H.264、MJPEG
シャッター	電子式シャッター	記録メディア	マイクロ SD カード（32GBまで対応） （内蔵メモリーは搭載されていません）
液晶ディスプレイ	2.0インチ LCDスクリーン	USBインターフェース	High-speed USB 2.0 interface
静止画有効画素数	12M (4000 x 3000) 8M (3264 x 2448) 5M (2592 x 1944) 3M (2048 x 1536)	電源	リチウムイオンバッテリー700mAh
動画解像度	FHD (1920x1080) HD (1280X720 30fps) HD (1280X720 60fps)	撮影可能時間	（満充電時）：約85分（連続撮影時）
ドライブレコーダーモード	映像セグメント 1分、3分、5分の選択可	画角	約100°
ホワイトバランス	自動、Daylight（太陽光）、Cloudy（曇り） Fluor H（室内蛍光灯）、Tungsten（室内白熱電灯）	充電時間	約3時間
		本体寸法	本体（幅）約58×（奥行）約32×（高さ）約43mm
		本体重量	約75g（付属品は除く）

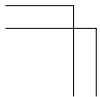
ご注意：

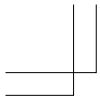
この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更する事があります。



MEMO

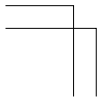
A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for writing a memo.

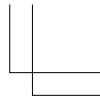
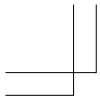




MEMO

A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for writing a memo.





MEMO

